

「学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)」導入に向けた情報発信!

【第2号】

# 「みんなのがっこう」通信

《発行》長万部町教育委員会

## 学校と地域住民が協働で児童の学習をサポート!「きらめきDay」を視察



学校運営協議会導入推進委員会で、7月26日(火)、27日(水)に長万部小学校で実施された夏休み学習サポート「きらめきDay」の視察を行いました。

この視察は、学校運営協議会制度(通称:コミュニティ・スクール)が目指す大きな柱である「地域とともにある学校づくり」を進めて行くための一つの方策として、学校が地域住民の理解や協力を得て進めている学校の活動等の現状を視察する目的で実施したものです。



この「きらめきDay」は、地域住民に学習指導ボランティアをお願いし、児童への「学習サポート」を行うという長万部小学校が取り組んでいる夏休み中の学習活動です。

算数や国語などの問題プリントを学校が作成し、問題の解き方やヒントを指導しながら学力の定着や向上を目指すことを目的に実施されているものです。

当推進委員会の榎本委員長や川添副委員長もボランティア指導に携わってきたベテラン指導者です。地域の協力者や先生方、保護者が声を掛け合うなどして、新しい学習指導ボランティアを募り、協力者の輪が広がっています。「退職後の時間を子どもたちのために有意義に使いたい。」と参加してくれた方もいらっしゃいます。



学校の先生はもちろん、多くの地域の方々の協力や熱心な指導が、児童の学習意欲の向上や学力の定着に大きな役割を担っていることを再認識する機会として、推進委員にとって、とても有益な視察となりました。

